

おうちの方へ

小 / 算数 / 1年 / 数と計算 /
おうちの方へ / 理解シート

文章だけで書かれた問題が解けないのですが、
どのように指導したらよいのでしょうか



文章を読み取る力と、文章の場面を絵や図に表すことを
練習させましょう。

1

文章を読み取る力を養いましょう。

1年生の文章で書かれている問題は、解法が複雑だったり、難しい問題はほとんどありません。計算の式に表すと、簡単な計算になるものがほとんどです。

難関は、文章を読み取れるかどうかということです。

でも、物語の文章に比べると、やさしい決まりきった表現が多く使われています。

算数で使われるいくつかの表現方法を理解すれば、語彙も限られています。

まず、じっくり、問題文を読ませてください。

そして、わからないことばがあれば、補足説明してあげましょう。

2

文章の場面を、絵や簡単な図で表す習慣をつけましょう。

問題文のイメージが絵にえがければ、ほぼ、問題は解決されています。

絵が難しければ、○や△などの記号に置きかえて表現すればよいのです。

特に、たし算のときは、それらの記号で表されたものの総個数を求めるものがほとんどです。

3

場面を変えた問題を作る遊びをしてみましょう。

例えば、 $7+8$ の式になる花の数を求める問題があったとします。

この問題から、場面を動物の数や、折り紙の数、果物の数などに変えて問題を作る遊びをしてみましょう。

登場するキャラクターは変わっても、7このものと8このものを合わせるときは、いつも、 $7+8$ の計算を使うことがわかります。それと同時に、語彙が豊かになり、文章で書かれた問題に対する抵抗感が少なくなります。